

眠り寺小屋

Tokyo Nishikawa Sound Sleep Information



タオルケット

寝具について⑥

快眠情報

Vol.16

日本生まれのタオルケットは、ムシ暑い日本の夏を涼しく、心地よくするための知恵と工夫の大傑作。最近では、羽毛ふとんの中掛けとしても注目されています。今回は、ニッポンの知恵と技術の傑作タオルケットをご紹介します。

夏はもちろん、オールシーズン愛用されているスグレモノ

湿気の多い日本の夏を、少しでも快適に、気持ちよく眠りたいという発想から生まれたのがタオルケットです。

さわやかなタオルの感触がヒントとなって寝具用に改良され、現在使われているような形になったのは1960年頃。それ以降、丸洗いができ、取り扱いがカンタンなタオルケットは、夏はもちろん、肌掛け用に、シーツの代わりにと、オールシーズン幅広く愛用されています。

汗かきの方の中には、羽毛ふとんではムシるような感じから、寝苦しさを覚えることも多いようです。しかし、タオルケットを内側に使うことで湿気が吸収

され、心地よくお休みいただけるため、「アンダーケット」としても注目を集めています。

織りや加工によって表情さまざま

●ジャガードタオルケット

パイルは表裏とも糸が輪になっているタイプ。

ジャガード織機によって柄を出します。

●シャーリングタオルケット

パイルの表面をカットし、ピロードのような滑らかな風合いをもたせたタイプ。表面が緻密なので、プリントが美しく染め上がります。

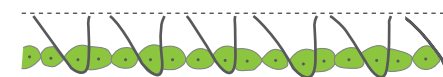
●マイヤー編みタオルケット

パイル糸をタテヨコの基布に絡ませて編み上げる製法。ボリューム感に欠けませんが、パイル糸が抜けにくいことが魅力です。

パイル織の断面



シャーリング加工の断面



タオルケットのお手入れ法

初めてご使用される場合は、毛羽抜けが考えられますので、一度洗ってからお使いください。

ほとんどのタオルケットは洗濯機で丸洗いができます。ただし、濃いカラーのものは、はじめのうち、余分な染料の粒子ができることがあるので、白いものと一緒に洗うことは避けましょう。

また、パイル糸が長いものは毛羽抜けしやすいため、ネットに入れて「手洗いモード」で洗濯を。高級品や重厚なものは、クリーニングに出す方が安心です。

使っているうちにループが伸びてくる場合がありますが、決して引っばらず、はさみで切り取ってください。

